

釣りを楽しむ方へ！！

救えなかつた命がある  
だから聞いてほしい



## とにかく無理はしないで

「せっかく休みなんだから」「今シーズンは今日が最後だし」「危なそうだけど、もうちょっと行ったら釣れそう」「体調悪いけどせっかくの誘いを断れない」「安全装備としては不十分だけど大丈夫」「歳で足元がおぼつかないけどまだまだ若いつもり」など、荒天時の釣行や足元の悪い磯、消波ブロック、波が被る防波堤などに上がるなどムリをして大事故を起こす。“ちょっとムリ”かな？と思ったら引き返す勇気を！生きていれば何度でも釣りに行けるじゃないですか！はやる心は釣り番組を見たり、ゲームでもして沈めましょう。次がある！

## 何故ライフジャケットなのか

溺死者の海中転落を目撃した人はいく同様に「最初はバタバタしていたが、やがて沈んで見えなくなった」と証言している。この間、約15分！溺れる理由は泳げなかったからではなく、低体温症になり体が動かなくなったためである。こんな時“浮いている”というのは重要で、一度沈んでしまった人間は水面直下でも水面反射で見つけるのが困難！航空機でも頭が髪の毛で黒く、周りの海藻との見分けがつきにくい。少しでも浮いててくれれば発見・救助が早く、完全に低体温症で死亡する前に救助できる可能性が高まるのです。水温20度でも低体温症は起こります。釣った魚を氷水に入れたときを思い出してください。



安全対策について詳しくは

ウォーターセーフティガイド



海のもしものは118番



秋田海上保安部



## 冬の釣りサバイバルの知識

膨張式は開くまで時間がかかる

ライフジャケットにも種類がある



### 膨張式ライフジャケット

ボンベカートリッジの規格が統一されていない為、同じ容量のボンベでも交換時は純正以外使わないでください。

開くまでに5~10秒かかりますのでパニックにならないように。

自動膨張しない場合の手動膨張索の引き方にコツのいるものがありますので一度は試してみることをおすすめします

### ベルトタイプ

釣り人等に多く使われているが、開いたときの形状を知らずに使用している者が多い。



膨張後に浮体を前に引き寄せる必要があり、浮体部分が後ろに開いた場合、うつ伏せに浮くことになりパニックを起こすことがある

### 浮体固定式

確実な浮力の確保には絶大な信頼があります。なるべく固定式を使うのが良いでしょう

水中での保温を考えた服装

## 海中転落したら15分しかもたない

- ◇転落から“約15分以内の救助”が実例上、生死の分かれ目
- ◇海ではすぐに救助が駆け付けるのが難しい
- ◇少しでも生存時間を延ばす服装の工夫が必要

保温を考えた服装として、身近なものでは次のとおり

- 下着 化学繊維系保温下着(ヒーオテック極暖系など)※綿・ダウンは濡れると保温性が低下
- 中着 フリース(化繊)又はウールのセーター(羊毛)
- 上着 厚手のカッパや防寒衣(ゴアテックスのパーカーが最も良い)※手首・足首が閉まるもの
- 帽子等 ウールの帽子やネックガードを着用 ※体温が奪われやすい場所が頭部と頸部(首)

釣用のウェットスーツやアンダーウェアも1万円以下で出回っていますのでお勧めです(30分漂流して自力で助かった実例あり)

【参考:海技振興センターHP】

ロープを1本持つていこう

## 1本のロープが命を救う

ホームセンターなどで安価で買える黄色と黒の縞模様のナイロンロープ(通称:トラロープ)！1本では引張り強度60Kgくらいで、大人男性を垂直に引き上げる強度はないので、上げられる場所まで引っばってもらう

使用法

- 先端に体を通せる大きさの輪を作るか、スカリを結んでおく
- ロープには50cm毎にこぶ球を3個程度結んでおく
- これを近くの固定物に結ぶか、固定物が無い場合はクーラーBOXなど浮具になるものに結んで海面まで垂らしておく(冷水下ではすぐに物をつかむ力がなくなる)

気象海象確認はここが便利

## 気象変化を見るツール

- スマホがあれば便利なのが
- “天気と風と波”(iPhone専用無料アプリ)
- “釣り場天気&風波情報”(サイト)
- “Windy”(サイト)

スマホが無い場合、周囲の空をよく見て雨雲が近づくと、雲の流れが速くなった、風向きが変わった、湿った風が吹いてきたなど天候悪化のサインを見逃さないように。ラジオを聴いているのも良いでしょう。